

ここが聞きたい 一般質問



市道増沢高堂線（衣川区）崩落調査現場

市長は市民の付託にどう対処するのか、また議会採択をどの様に受けとめているか伺います。

市長 94件中41件は各担当部署において実施に向け努力をしておられ、実施が20件、未実施が21件という内訳です。議会採択は重く受けとめ、限られた予算内で優先順位を付け努力しています。

質問 市道上中沢萩屋敷線他1路線の道路拡張については、小山、北股地区の両振興会から要望が出されています。また、議会へも請願が出され採択されていますが、どのように対処しようとしているのか伺います。

市長 市道上中沢萩屋敷線は、地域の方々にとって重要な道路と認

質問 「岩手県ごみ処理広域化計画」（平成11年3月）で、旧胆江地区広域行政組合、旧一関地方衛生組合、旧東磐城組合の3つのごみ焼却施設を廃止し、広域（一関市地方・胆江地方全域）で平成29年に1カ所に新設し、ごみ焼却処理をすることになっています。1



この ひろふみ
今野 裕文

○奥州金ヶ崎行政組合の
ごみ焼却施設の更新について

識しています。今後の交通量の推移や市全体の道路整備の進捗などを踏まえながら総合計画に搭載できるように検討してまいります。

質問 市道増沢高堂線の崩落に対して、早期復旧の地域要望や、議会においては請願採択がされましたが、今日まで先送りとなっています。所有者111名が生活の糧にしている道路ですが、どのようにしているのか伺います。

市長 大規模な復旧工事となり、多額の経費がかかることから、予算化は難しい状況です。迂回路を利用していただくようお願いしています。



平成6年9月に完成した胆江地区衛生センター

日当たり219トンの処理能力のある24時間稼働の施設を新設するものです。現在の経済情勢からすれば、一関地方との広域で、新しい施設をつくるのが本当に経済効率が良いか疑問であります。ストックヤードといわれる車両の積み替えや保管整理する施設も必要になり、長い距離をかなりの車両が往来しなければならず、環境（騒音や排ガスなど）に与える影響も大きいのです。「岩手県ごみ処理広域化計画」の見直しと具体的対応が必要だと考えますが、見解を伺います。

市長 計画時から10年以上たち、状況も大幅にかわっているので、新年度に基本調査を行い、現状の

把握と、今後の方向性を協議します。

質問 計画にある広域化計画による施設ではなく、小規模施設で可能であるならば、今の施設を修繕し使い続ける事も含めて検討すべきと考えますが、見解を伺います。

市長 胆江地方の住民に大きな負担を強いるものであってはならないし、環境を大きく損なうことがあってはならないので、住民の皆さんに理解頂けるものにしていきたいと考えています。

